



Sustainability

■ サステナビリティ

■ リクルートグループのCSR活動

リクルートグループでは持続可能な世界を目指し「社会からの期待」と「企業市民としての責任」に応えるため、グループ各社にてさまざまなCSR活動を行っています。5つのカテゴリーに分けて取り組みをご紹介します。



■ 就労支援

「人は働くことで社会とつながり、人生が豊かになる。」リクルートグループは、全ての人がいきいきと働ける社会を目指しています。

● リクルートホールディングス—「iction!（イクション）カムバ！」

子育てと仕事の両立を考えている女性の両立支援準備をサポートする無料サービス。妊娠週別のアドバイスや先輩ワーキングマザーの体験談、タスクリストなどのコンテンツを提供しており、2017年3月末現在で累計20万人が利用。2016年12月には妊婦を部下に持つ上司向けのマネジメントサポートサービスもスタート。

● リクルートホールディングス／RGF—「ホンキの就職」／「WORKFIT」

2011年より人材事業の知見を活かした無料の若者向け就職応援プログラムを実施。グループワーク中心の実践型「4Daysグループワーク」と、自己PRと面接に特化した1日集中型「1Dayセミナー」を実施。(写真①)

● リクルートキャリア—HELP MAN JAPAN

ブランディング、採用支援、定着支援の3つのアプローチから、介護業界の就業人口を増やすことを目的としたプロジェクト。ブランディングでは介護職の地位向上を目的とした情報発信、採用支援では採用ノウハウセミナーと人材紹介、定着支援ではスタッフへの研修開発・資格取得支援を実施。



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤

● **リクルートオフィスサポート(リクルートホールディングス)／リクルートスタッフィングクラフト(リクルートスタッフィング)／スタッフサービス・ビジネスサポート(スタッフサービス・ホールディングス)—障がい者雇用**

障がいを持った方々が能力を発揮できる場を提供する特例子会社。年齢、社会経験、障がいの種類もさまざまな従業員が活躍中。例えばリクルートスタッフィングクラフトでは、作業系の領域が得意な重度知的障がい者の特性を活かせる職場を作り、オリジナルステーショナリーを製作。この製品は、アルミが蒸着しているため再資源化が困難とされる酒パックなどの紙を再利用して従業員自らが紙を漉き、卓上カレンダーなどに仕立て上げたもので、グループ各社の販促物として活用。(写真②③)

● **リクルートスタッフィング—アビリティスタッフィング**

障がいを持つ方々への就職支援(人材派遣・紹介)。長期的に安定して働くよう、専門家である精神保健福祉士が、一定期間就業者の体調やメンタル面をサポート。

● **リクルートスタッフィング／スタッフサービス・ホールディングス**

—「WORKFIT for MOM」

子どもを持つ母親向けの無料就労支援プログラム。出産後に退職する女性が多い日本の社会課題を踏まえ、セミナーでは、強みを見つけるヒントや自分に合った働き方の選択肢などを発見し、子育てしながら働くことへの不安や悩みを解消。コーディネーターによる面談も実施。

● **Advantage Resourcing—Employment Support**

シカゴのホームレス保護施設でボランティアを実施。ワークショップでは、履歴書の書き方、面接対策、求人サイト検索などを実施し、サイト上でも情報を提供。(写真④⑤)

● **Chandler Macleod**

—**Helping disadvantaged women re-enter the workforce**

女性の再就職支援として、面接スキル向上のトレーニングを行うとともに、履歴書の書き方を支援。寄付による財務的な支援も行う。

● **USG People**

—**Restart**

精神的・身体的障がいを持つ方々に雇用機会を提供。オランダでは1,000人、フランスでは850人の障がい者雇用を創出。

—**Refugees**

イラク、シリア、エリトリアの難民の方々が安全で安定した生活を得るために、パンフレット配布やイベント開催などで就職に関する情報を提供。



写真⑥



写真⑦



写真⑧

Topics

● リクルートホールディングス／RGF—「ホンキの就職」／「WORKFIT」

2016年2月に無料の就職応援プログラム「ホンキの就職」、「WORKFIT」をベトナムのUEF (University of Economics and Finance) にて、10月にはタイの国立キングモンクット工科大学にて開催しました。面接練習などを中心としたプログラムには、就職活動を控える学生（ベトナム：47人、タイ：約180人）が参加。日本では毎年約4,000人への提供に加え、少年院を出発する若者たちにも無料提供し、自立の後押しを目指しています。これらのプログラムの特徴は全て「自己効力感を高め、企業の求める人材ニーズとマッチングさせていく」ことができる点です。2011年のプログラム開始時からの累計では約2.3万人が受講しました。今後も各地域で、若者が求職活動に自信を持てるよう就労支援を継続していきます。（写真⑥⑦⑧）

		2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
プログラム	合計	4,173人	4,696人	3,994人
受講者数	学校開催	1,371人	1,371人	1,893人
	NPO開催	865人	1,194人	1,541人
	自社開催	1,927人	2,131人	560人
提携団体数	学校	52大学	61大学	82大学
	NPO	54拠点	70拠点	74拠点

Topics

● 障がい者雇用率

	2015年6月	2016年6月	2017年6月
リクルートホールディングス*	2.19%	2.19%	2.32%
リクルートスタッフинг	2.08%	2.06%	2.10%
スタッフサービス・ホールディングス	2.03%	2.02%	2.00%

* 国内連結企業(2017年6月時点)

リクルートキャリア	リクルートジョブズ
リクルートテクノロジーズ	リクルートゼクシィなび
リクルートマネジメントソリューションズ	リクルートオフィスサポート
リクルートコミュニケーションズ	リクルートライフスタイル
リクルートフォレントインシュア	リクルートカーセンサー
リクルート住まいカンパニー	リクルート北関東マーケティング
リクルートアドミニストレーション	ユメックス
リクルートキャリアコンサルティング	シーディエスアイ
リクルートマーケティングパートナーズ	ニジボックス
リクルートメディカルキャリア	Indeed Japan

■ 若者支援

教育機会を得たとしても、就労に苦労する若者が増えています。また、さまざまな体験を通じ個々の強み・可能性を発見し、伸ばしていくことが大切です。私たちは、若者が希望を持てる社会を目指し、自立支援に注力しています。



写真⑨

● リクルートホールディングス—江副記念財団

江副記念財団は、当社創業10周年の際に「社会への貢献」を目的に検討され、「リーダーシップのある人・向学心旺盛な人・将来何かやりそうな人」を応援するために1971年に設立。以来、累計622名に対して奨学生の給付などの活動を行い、近年は音楽、芸術、スポーツの分野において世界で活躍する若者を応援。2016年度は器楽部門において13名、スポーツ部門において15名、現代アート部門において3名、学術部門において13名の奨学生を対象としている。また、設立45周年を記念して、「江副記念財団45周年記念コンサート」を2016年9月8日にサントリーホールにて開催。器楽・声楽部門の卒業生5名、現役奨学生4名が出演。(写真⑨)

● リクルートキャリア—「就職Shop」

「未経験から正社員で就職したい若者」と企業をつなぐ就職支援。①書類選考なし、②全員面談による求職者の持ち味の把握、③若者の可能性を信じる企業を1社1社直接取材し情報提供、④模擬面接など、就職活動全般を伴走しながら働く覚悟感の醸成をし、若者が自信を取り戻し社会で可能性を拓くための一歩を踏み出してもらう。現在、首都圏・関西で9店舗を展開。これまで約9.5万人の若者と向き合ってきた。(写真⑩)

● リクルートライフスタイル—「マジ☆部」

若年層の行動支援プラットフォーム。これまでに、地域に若者を呼ぶ仕掛けとして、19歳はスキー場のリフト券が無料になる「雪マジ! 19」などを展開。「マジ☆部」アプリでは年齢限定でスキー & スノーボード、リーグ、ゴルフ、温泉などさまざまな感動体験が無料になる。若者に体験してもらうきっかけを作り、未来の地域経済を活性化させることまでを見通した取り組みを推進。(写真⑪)

● Peoplebank—RMIT Scholarship

オーストラリアのロイヤルメルボルン工科大学の女子学生に対する、初年度の財政的支援を意図した奨学生プログラムを実施。(写真⑫)

● USG People—100 Opportunities 100 Jobs

18歳から30歳の若者を対象とした、長期的に続けられる仕事を見つけるためのプログラム。キャリアに関するアドバイスや面接シミュレーション、企業とのつながりを持つよう支援。



写真⑩



写真⑪



写真⑫

■ 職業観醸成

「働く」の意味や、自分が「やりたいこと」を考えることは、豊かな人生への大事なステップ。リクルートグループでは職業観を広い視野で醸成させることによって、子どもたちの可能性を引き出す活動に取り組んでいます。



写真⑬

● リクルートホールディングス—「タウンワークトライワーク」

中学校の総合学習の時間で実施されている「職場体験」学習の前2コマ、後ろ1コマに、担任の先生が各クラスで活用できる無料プログラムをオンライン配信。リクルートジョブズの求人メディア「タウンワーク」を教材として、職場体験前の授業では働く人の様子を見て取材する方法を学び、職場体験後には「働く人の仕事への想い」を中心に原稿にまとめる。生徒の作った原稿は「タウンワーク 中学生編集版」として地域に配布。(写真⑬)

● リクルートキャリア／リクルートマーケティングパートナーズ

—「キッザニアスポンサー」

子どもたちが好きな仕事にチャレンジし、遊びながら職業体験ができる施設「キッザニア」。リクルートグループでは「おしごと相談センター」パビリオン(リクルートキャリア)、ウェディングプランナーの仕事、新郎新婦を体験できる「ウェディングセレモニー」(リクルートマーケティングパートナーズ)を出展。相談センターでは、大人のスーパーバイザーがキッザニアの街でどんな体験をしたいのか迷っている子どもたちの相談にのり、職業を案内。セレモニーでは、結婚式を執り行うプロセスを通じ、子どもたちが「おめでとう」の気持ちを伝え合う機会を楽しめる。(写真⑭)

● リクルートジョブズ—「タウンワークお仕事ブック」

求人広告事業で培った知見をもとに、従業員講師が小学生に「働くことのやりがい」を伝え、自身のキャリアについて考え続けるきっかけを提供する活動。子どもたちが「働く人」を取材し、原稿を作成して小学生編集版の「タウンワーク」を発行。



写真⑭

Topics

● リクルートホールディングス—「WORKFIT for KIDS」

2016年より開始した、児童養護施設に暮らす子どもたちのための職業観醸成プログラム。NPO法人と連携し、従業員がゲスト(カメラマン、介護施設従事者などさまざまな職を持った方々)とともに施設において「出前授業」を行い、社会において多種多様な職業が存在することや、どのような準備をすればその職業に就くことができるかなどの情報共有を行います。(写真⑮)



写真⑮



■ ダイバーシティ

個々の多様性を活かした組織づくりを推進し、従業員が持っている力を存分に発揮できるよう、キャリア支援や制度づくりをはじめ、性差などに関わらず活躍できる環境整備を中心に取り組んでいます。

● 国内主要グループ各社—ダイバーシティ推進

まずは、日本社会において大きな課題となっている女性の活躍推進を中心テーマとし、仕事と育児の両立支援、活躍支援などさまざまな取り組みを実施。2016年以降はリモートワークの導入など、本格的なワークスタイルイノベーションに着手し、男女問わずさらなる個の成長を促進。

● 国内主要グループ各社

—ダイバーシティ for ALL プロジェクト「Be a DIVER!」

2016年より一人ひとりが多様な個性を活かし、より力を発揮することを目指すダイバーシティfor ALLプロジェクト「Be a DIVER!」を開始。プロジェクトでは、女性活躍推進だけでなく、男性の育児と仕事の両立、LGBT、介護と仕事の両立などの多様なテーマを取り上げ、社内外のゲストによる講義と対話の場を形成することで、従業員への啓発を促す。この対話の場は原則として毎月または隔月で開催され、従業員は誰でも自由に参加が可能。さらにその内容は詳細にわたるレポートの形式で国内のグループ従業員およそ3万人にメールマガジンとして配信され、ダイバーシティの意義・具体的な取り組みなどについての最新情報が持続的にシェアされ続ける仕組みとなっている。またこの取り組みにおいて得られた知見は、社内にとどまらずWEBサイト、社外向けセミナーにて開示される。例えば、性的マイノリティが働きやすい風土作りというテーマでは、先進企業や国際人権NGOなどの有識者ゲスト、または社内外の当事者を招き、基礎知識を学ぶだけでなく、制度の改定やサービス・商品への反映などを参加した従業員自らが考え、話し合うなど、新たな気づきや提案が生まれる場となっている。(写真⑯⑰)

● 国内主要グループ各社

—女性経営者育成プログラム「Women's Leadership Program」

2012年のグループ内調査で、男性従業員の約7割がより高い役職を志望しているのに対し、女性従業員は約4割と差がある結果に。そこで、女性経営層人材の育成を進めるために、2014年から経営幹部候補の女性従業員を対象にリーダーシップ研修「Women's Leadership Program」を開始。役員層がマンツーマンで半年間、参加者に伴走し育成する。(写真⑯)



写真⑯



写真⑰



写真⑯



写真⑯

● 国内主要グループ各社—「Career Cafe 28」

ライフイベントの節目を迎える女性従業員からの要望に応え、任意参加で今後のキャリアを考えるキャリア構築支援の研修を実施。いつライフイベントが起こっても自分らしく活躍できる選択肢を増やす方法について、外部講師や先輩社員から学ぶ場を提供。また、女性従業員の上司向けマネジメント研修「Career Cafe 28 BOSS」も実施し、女性従業員の成長を加速させるために現場で実践できるマネジメントを学ぶ場に。(写真⑯)

● リクルートホールディングス—事業所内保育園「And's(アンズ)」

特に首都圏で顕著な「保育園不足問題」を踏まえ、出産後も働き続けたい従業員が安心して職場復帰できるよう、2008年1月に本社であるグラントウキョウサウスター内に事業所内保育園「And's」を開設。設置後は育児休職者の復職率が向上し、女性社員に占めるワーキングマザー率も増加。2017年4月時点では女性社員の22.7%、約5人に1人がワーキングマザーに。また、フレキシブルな育児支援のニーズに対応するため、ベビーシッターの法人契約も実施し、従業員に対し入会金の免除などの支援を行う。

● リクルート住まいカンパニー—「SUUMO」LGBTフレンドリーの取り組み

「SUUMO」掲載中の賃貸物件を、「LGBTフレンドリー」という特徴項目で検索することを可能に。LGBTフレンドリー物件とは、「LGBTであることを理由に、入居の相談や入居自体をお断りすることはない」と積極的に意思表示している物件で、情報提供により安心して住まい探しができるようサポート。また、「SUUMO for LGBT」という特設サイトも開設。(写真⑰)

● Peoplebank—Programs for Diversity Initiatives

女性管理職やエグゼクティブリーダーの積極登用、女性従業員の才能を引き出す研修プログラムなど、ダイバーシティに関する取り組みを積極的に推進。(写真⑱)

The screenshot shows a search interface for real estate listings. On the left, there is a sidebar titled '入居条件' (Residence Conditions) with several checkboxes. One checkbox, 'LGBTフレンドリー' (highlighted with a red border), is checked. Other options include '即入居可' (Available immediately), 'ペット相談可' (Pet negotiable), 'カスタマイズ可' (Customizable), and '定期借家を含まない' (Does not include leasehold). On the right, there are more checkboxes: '女性限定' (Female only), '高齢者歓迎' (Welcome seniors), 'ルームシェア可' (Room sharing available), and 'DIY可' (DIY available). The SUUMO logo is visible at the bottom right.

写真⑰



写真⑱

Topics

● 国内主要グループ各社—LGBT当事者のための取り組み

リクルートスタッフィングは2016年10月、任意団体 work with Pride が策定した、企業のLGBTなどの性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE指標」において「ゴールド」に認定されました。管理職や採用担当者向けの社内研修や、メールマガジンでの情報発信などを通じて、全ての人が「自分らしく働く」ためのサポート体制づくりが評価されたものです。また2017年4月から、当社グループ9社において、配偶者やその家族に適用される福利厚生などの人事制度の一部を同性パートナーにも適用する制度を開始しています。



写真②



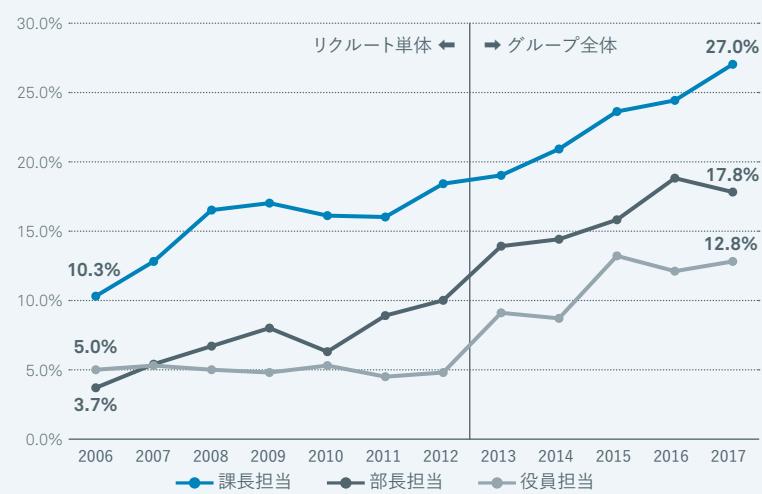
写真③

Topics

● 国内主要グループ各社—女性管理職の任用目標の設定

ダイバーシティ推進にあたり、特に日本で課題の大きい女性管理職比率について、女性課長比率を「2018年4月までに30%以上」とする任用目標を設定し、毎年その進捗を開示しています。2016年4月の実績は24.4%、2017年4月の実績は27.0%となっています。(写真②③)

女性管理職比率



※2013年度以降は国内主要グループ11社の4月時点実績数値

Topics

● リクルートホールディングス—従業員ダイバーシティ浸透度調査

リクルートホールディングスでは、日本におけるグループ11社において、従業員を対象にダイバーシティの浸透度をモニタリングする調査を毎年実施しています。回答数は約1.2万人、回答率は83%。これにより適切な課題把握が可能となり、横断施策の実施につながります。男性の育児と仕事の両立支援などもここから生まれた施策です。

Topics

● Peoplebank—Flexibility

女性の活躍のみならず、個々人が置かれているさまざまな状況全てに配慮し、それが無理なく仕事と私生活を両立できるようFlexibilityを推進しています。週3、4日勤務、短時間勤務、在宅勤務などさまざまなオプションを提示し、個々の状況に合わせて選択できるようにしています。

■ ワークライフバランス／働き方変革

日本において多様な働き方の実践を推奨する動きが官民で広がっており、生産性の向上・多様な人材が活躍できる環境づくりが大きなテーマとなっています。それを受けた、グループ各社における取り組みをご紹介します。



写真⑭

● 国内主要グループ各社—働き方変革プロジェクト

労働力人口の減少、生産性の低さ、少子化など日本が直面する課題を解決するため、私たちが抜本的な働き方変革に挑戦することで「働き方を再発明」し、社会全体で「働き方を変える」うねりを起こすことを目指すプロジェクト。例えばリクルートホールディングスでは、2016年1月より全ての従業員を対象に、場所にとらわれず仕事ができる「リモートワーク」を本格導入。さらにサテライトオフィスを東京近郊40か所に設置して自宅や訪問先の近隣で働くことが可能に。一部では保育スタッフが常駐し、子どもを預けながら勤務するキッズスペースも設置するなど、従業員一人ひとりの柔軟な働き方の実現に向けた取り組みを強化。また、さまざまな実験を重ねながら成功事例や失敗事例も社外に公開。(写真⑭⑮)

● 国内主要グループ各社—リモートワーク

グループ5社で「リモートワーク」を導入し、約4,000人が利用。また、一部グループ会社では、リモートワークを派遣社員含む全ての雇用形態の従業員に対し、上限日数なしで導入。

● リクルートグループ各社—ファミリーデー

「家族に働くことを理解してもらうことで家族からの応援を引き出し、従業員のモチベーションを高めてもらいたい」という想いのもと、従業員の家族を招待する「ファミリーデー」を各社で開催。子どもの働く親に対する理解を促し、家族の絆を深める機会にするとともに、会社が従業員の家族への感謝の気持ちを伝える場として大切な位置づけ。(写真⑯)

● リクルートコミュニケーションズ／リクルートマーケティングパートナーズ—従業員の育児支援

2016年にリクルートコミュニケーションズ、リクルートマーケティングパートナーズにおいて、男性従業員の育児休暇取得を必須化(5日以上の取得が必須)。女性従業員だけでなく男性従業員も育児・家事に参加することが、女性の社会復帰及び活躍推進につながると考え、男性従業員が有給休暇の形で育児・家事に専念し、その後の仕事との両立をスムーズに行えるよう支援する制度。



写真⑮



写真⑯



■ アワード受賞

リクルートグループは、外部機関より事業活動や職場環境に対するさまざまな評価をいただいている。各種受賞事例の一部をご紹介します。

● Indeed—Great Place to Work

2016年の調査に初めて参加して以来、創業地のコネチカット州スタンフォード、テキサス州オースティンで「Great Place to Work」に選出。

● リクルートホールディングス—日本パートナーシップ大賞

社会にインパクトを与えた特色ある企業とNPOの協働事業を表彰する日本パートナーシップ大賞において、無料の若者向け就職応援プログラム「ホンキの就職」が「若者サポート賞」を2017年3月に受賞。仕事を探す若者が集まるNPOのサポートステーションにリクルートホールディングスが支援コンテンツを提供するというコラボレーションを評価。(写真②)

● リクルートホールディングス—J-Winダイバーシティ・アワード

企業におけるダイバーシティ＆インクルージョンを加速することを目的として、それに取り組む先進企業を表彰する「J-Winダイバーシティ・アワード」において、3回目となる「企業賞アドバンス部門 大賞」を2017年3月に受賞。女性活躍推進や働き方の変革などへの取り組みに加え、ジェンダーのみにとどまらない多様性への施策展開などが評価。(写真②)

● リクルートライフスタイル／リクルートコミュニケーションズ

— カンヌライオンズ2017

スマートフォンでできる精子セルフチェックサービス「Seem」が、世界最大規模を誇る広告・コミュニケーション関連のアワード・フェスティバル「カンヌライオンズ2017」において、モバイル部門全体のグランプリをはじめ、2部門4カテゴリーにおいて受賞。(写真②)

● The CSI Companies—Best of Staffing® Client Award and Talent Award for 5 consecutive years

北米で展開する人材派遣業界で卓越したクライアントサービスを提供している企業として、「Best of Staffingランキング」にて5年連続でクライアント賞とタレント賞を受賞。

● Staffmark—Best in Staffing-Client Diamond Award

卓越したクライアント・派遣社員へのサービスを提供している企業として、「Best of Staffing クライアント部門」のクライアント賞を6年連続、また「Best of Staffing タレント部門」を受賞。北米の全ての人材派遣会社でこの名誉ある賞を受賞できるのは2%未満。6年の成果を認められて、ダイアモンド賞も受賞。



写真②



写真②



写真②



写真⑩



写真⑪



写真⑫

● Peoplebank

—Best Employer of Choice for Gender Equality

オーストラリア政府機関の「Workplace Gender Equality Agency」が選定する男女の機会均等などの推進が積極的に行われている職場としての表彰を5年連続（2012年–2016年）で受賞。（写真⑩）

—Best Recruitment Company to Work For (Large Organization)

2017年「リクルートメント・インターナショナルアワード」で、「働きがいのあるベスト採用企業」賞を受賞。全スタッフが利用できるオンライン学習プラットフォームや、リーダーシップスキルを開発するための研修プログラムを通して、スタッフの能力開発に投資。（写真⑪）

● Chandler Macleod—atWork Australia

長期的かつ持続可能な雇用を通じて、オーストラリアの方々の生活を支えることに尽力している雇用主を表彰する「atWork Australia」にて、2017年のチャンピオン雇用者に選出。（写真⑫）

● USG People—Best Multinational Workplace in Europe 2017

欧州の多国籍企業ランキングで14位にランクイン。4部門において合計2,340社、従業員総数150万人に上る多数の企業が参加した欧州最大の調査ランキング。

Topics

● Indeed—Great Place to Work

Indeedは「Best Workplace for Millennials 2017」と「Best Workplace in Consulting & Professional Services 2017」にも選出されています。これらの調査は、働きがいのある組織の構築・維持・認証に関する世界的権威のGreat Place to Workが実施しています。これらの賞はリーダーシップ、職場満足度、ワークライフバランスなどの質問に対する従業員の回答を反映しています。



■ 環境保全

リクルートグループでは、地球環境を持続的かつ安全に守っていくために、事業活動において環境に対する配慮を徹底し、事業や商品・サービスを通じて環境保全活動に取り組んでいます。具体的には、環境ビジョンを定め環境マネジメントシステムを構築し、CO₂排出量や環境効率指標をモニタリングしています。



**more eco
more Smile**

写真⑩

● 国内主要グループ各社—環境保全

環境ビジョン「more eco more smile」を定め環境マネジメントシステムを構築し、CO₂排出量や環境効率指標を経年でモニタリング。①事業サービスを通じた環境保全活動②地球温暖化防止の取り組み③リサイクル・汚染予防・生物多様性保全の取り組み④従業員への積極的な環境意識醸成・行動支援、の4つのテーマで推進。(写真⑩)

● リクルート住まいカンパニー—「SUUMO」を通じた環境啓発

家選び・リフォームを検討する消費者に向け、編集記事や不動産会社各社の紹介ページ・物件の紹介ページを通じて、地球にやさしい住まい・暮らし方の啓発や、不動産会社各社における省エネルギー化への取り組みを紹介。

● リクルートコミュニケーションズ—エコな情報誌作成

リクルートグループのフリーマガジンにおいて、可能な限り薄い紙を使用する、配達トラックを削減しCO₂排出量削減につなげる、残部をリサイクルしダンボールに再生させるなど、さまざまな地球温暖化防止への取り組みを実施。(写真⑪)

● リクルートテクノロジーズ—サーバの効率化

リクルートグループのサービスを支えるサーバ設備などのインフラ環境において、大幅な機器の集約化、機器台数の削減及び省電力の最新機種へのリプレースを推進。

● リクルートホールディングス／リクルートコミュニケーションズ—オーストラリアでの植林

「紙媒体を扱う企業として木を消費するだけでなく、自分たちでも育てて貢献する」という思いから、オーストラリアに現地法人を設立。(写真⑫)

● The CSI Companies—紙の利用の削減

バックオフィス部門において紙の書類使用ができるだけ廃止し、情報を電子化。全従業員がアクセスできるようにし、毎年900万円近くの紙代を削減。

● USG People—移動手段によるCO₂排出量削減

主に排出量の約85%を占める移動手段に重点を置いたCO₂排出量削減の活動を実施。毎年、自動車におけるCO₂排出量を削減し、自動車での移動を減らすために事業所において電動スクーターや自転車を提供。

Topics

● 国内主要グループ各社—環境保全

環境ビジョン「more eco more smile」

①事業サービスを通じた環境保全活動②地球温暖化防止③リサイクル・汚染予防・生物多様性保全④従業員の環境意識醸成・行動支援の4つの取り組みを約束しています。

環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証取得

2011年3月より、ISO（国際標準化機構）が定める環境マネジメントシステムを導入、毎年内部監査を行うとともに、認証更新のために外部機関による審査を実施し、定期的に進捗をチェックしています。

CO₂排出量の削減目標設定とモニタリング

オフィスから排出されるCO₂はもとより、事業活動におけるライフサイクル全体で排出されるCO₂総量を算定し、削減に取り組んでいます。日本において、2020年度には2008年度比で総量25%削減することを目指します。

環境効率指標のモニタリング

フリーマガジンの無駄な配本を減らすなど、紙資源の保全施策を行っています。2008年に独自の「環境効率指標：売上高（10万円）／紙使用量（t）」を設け、モニタリングを継続しています。（写真⑬⑭）

従業員啓発

オフィスにおいて省エネ・省資源の徹底の呼びかけを社内掲示物により行うとともに、毎年厳しい合格基準が設定されている「コンプライアンステスト」に環境関連項目を組み入れ、学習の機会を設けています。

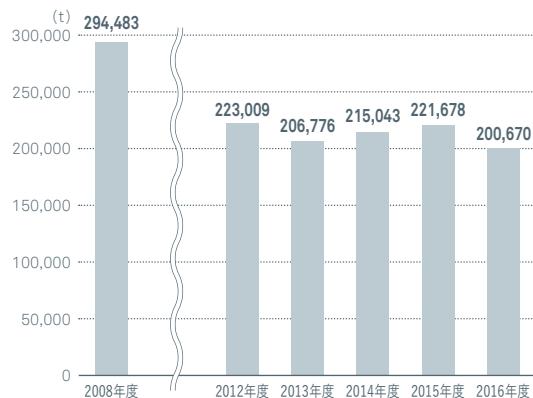


写真⑬



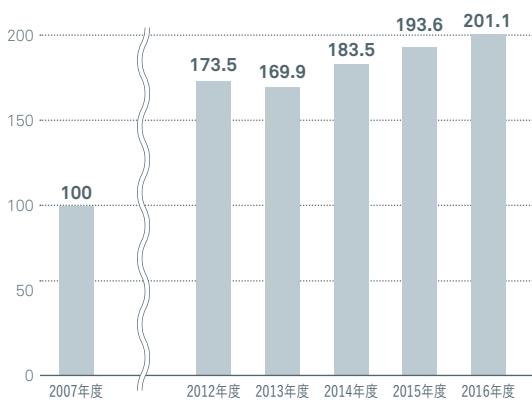
写真⑭

地球温暖化防止への取り組み

CO₂排出量の推移

* CO₂排出原単位の選定においては、一部株式会社日本能率協会コンサルティングの協力を得ています。

環境効率指標の推移



2007年度を基準(100)として設定しています。

地域貢献 寄付

■ 地域貢献／寄付

リクルートグループでは、社会的責任の一環として、また地域社会の一員としての観点から、従業員が積極的に地域経済への貢献やさまざまなボランティア活動、寄付などの活動を行っています。

● Indeed—CSR efforts

従業員が住む地域社会の多くの組織とパートナーシップを組んで、Indeedのミッション「We help people get jobs.」を果たす地域貢献活動を実施。地域社会のプログラムを通じて、Indeedの従業員は求職者と直接交流し、情報を提供することで彼らの仕事探しをうまくいくようサポート。

● 国内主要グループ各社—従業員のボランティア活動支援

2011年より、ボランティア休暇制度（有給休暇、年5日取得可能）を設定。さらに、継続的なボランティア活動をサポートするため、費用の一部を支給。

● 国内主要グループ各社—被災地ボランティア派遣

被災地の復興を支援する従業員ボランティア派遣を実施。がれき片付けなどの活動に加え、現地事業主及び復興支援NPOと、継続的な支援の形や復興につながる新しいビジネスの創出に向けた対話も実施。（写真⑧）

● 国内主要グループ各社—マッチングギフトプログラム制度

役員・従業員が個々で自発的に行っている社会貢献活動を支援する目的で「マッチングギフトプログラム制度」を設置。役員・従業員が寄付を行った場合、その団体に当社グループが同額の寄付をする制度。

● リクルートホールディングス—地方創生プロジェクト

人口急減・超高齢化という日本の地域課題に向き合う。2016年度は高知県と業務連携協力協定を締結、地方創生をテーマとした新規事業開発プログラム「RECRUIT VENTURES（リクルートベンチャーズ）」を実施。グループの全従業員から新規事業案を募り、高知県でのフィールドワーク、ワークショップなどで検討を重ね、地域の課題を解決できる事業創出を目指す。（写真⑨）

● リクルートホールディングス—ギャラリー運営

地域の活性化、若手アーティスト支援を目的とし、創業エリアである東京・銀座に2つのグラフィックデザインや写真を主軸にしたギャラリーを運営。チャリティー展も毎年実施。（写真⑩）

● リクルート住まいカンパニー—「緑のカーテン」

2011年より植物を住宅の外側に植え温度の上昇を防ぐ「緑のカーテン」を広げる活動を継続的に実施。2017年は震災の被害を受けた熊本県益城町の仮設住宅270戸へNPO法人「緑のカーテン応援団」とともに設置。（写真⑪）



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真④



写真④



写真④

● リクルートマネジメントソリューションズ—プロ活

「個人と組織が相乗的に価値を高め合っている社会」の実現を目指し、事業で培ったスキル・知識を社会へ積極的に還元する施策として、従業員のプロボノ活動を支援。

● Advantage Resourcing—Volunteer for Local Community

ミシガン州フ林トで、従業員が安全な水と栄養価の高い食品を地域の人々に配布。地域の住民の方々の健康安全を目的としたボランティアを実施した。

● The CSI Companies—CSI Gives Back

事業を展開する地域に対して社会貢献プログラムを実施。イベントのスポンサー やボランティア、募金イベントなど多様なプログラムが進行中。(写真④)

● Staffmark—Employees' Volunteering Opportunities

企業活動の地域への還元手段として、従業員の休暇をボランティア活動に利用できるボランティアプログラムを用意。参加メンバーは、フードバンクでの活動、住宅建設、コミュニティガーデンの清掃、学校再建などの取り組みに参加。(写真④)

Topics

● リクルートマネジメントソリューションズ—プロ活

マネジメントソリューションのプロフェッショナルである従業員によるプロボノ活動を、認定NPO法人サービスグラントと提携して支援。2017年度は従業員有志6名が特定非営利活動法人キッズドアの営業資料作成を進めています。活動を通じ、支援先の運営基盤強化に寄与するとともに、私たちも社会課題への関心を高めてまいります。(写真④)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
ボランティア実績(国内主要グループ各社)			
ボランティア休暇利用者数	3人	21人	45人
ボランティア費用負担利用者数	40人	45人	25人
寄付実績(国内主要グループ各社)			
件数	23件	28件	21件
総額	2,330万円	31,940万円	827万円
マッチングギフトプログラム(国内主要グループ各社)			
利用者数	61人	62人	65人
総額	175万円	205万円	186万円
ギャラリー			
年末チャリティー展への参加アーティスト数	187人	177人	169人
年末チャリティー展寄付金額	約120万円	約103万円	約158万円

■ 社会へ知見を還元

リクルートグループ各社は、事業の特性に合わせた調査・研究専門機関を設けています。各機関では就職、結婚、住宅などのライフステージに関する分野から、旅行、飲食、美容など日常消費に関わる分野まで幅広く調査活動を行っており、その成果を社会に発信しています。

【主な調査・研究専門機関】

- Indeed
Hiring Lab
- リクルートホールディングス
リクルートワークス研究所
Recruit Institute of Technology
- リクルートキャリア
就職みらい研究所
- リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター
- リクルート住まいカンパニー
リクルート住まい研究所
- リクルートマーケティングパートナーズ
リクルートプライダル総研
リクルート進学総研
リクルート自動車総研
リクルート次世代教育研究院
- リクルートライフスタイル
じゃらんリサーチセンター
ホットペッパービューティーアカデミー
ホットペッパーグルメ外食総研
エイビーロード・リサーチ・センター
- リクルートマネジメントソリューションズ
組織行動研究所
- リクルートテクノロジーズ
Advanced Technology Lab

■ CSR方針

「一人ひとりが輝く豊かな世界の実現」を目指して

リクルートグループは「一人ひとりが輝く豊かな世界を実現する」という理念を掲げ、事業に取り組んできました。事業の発展とともに、私たちに期待を寄せてくださる方も少しづつ現れ、その期待に応えることでさらに事業を磨き成長してきました。社会への責任をどのように果たすべきかを明確にすべく、私たちは2014年にCSR方針として「3つの行動指針」、「5つの重点テーマ」を策定しています。

まず行動指針として、「事業で社会に貢献する」をCSRの中心に置き、社会の「不」を解決する一助となること。それに加え、より大きくなる「社会からの期待」に応えるとともに、自ら社会課題を洞察しそれに挑むこと。さらに「企業市民としての責任を果たす」、つまりリーディングカンパニーとしての責任を自覚し、グローバルレベルでの要請に応えることです。

次に重点テーマとして「働く機会を創り、輝く人を増やす。」、「多様な生き方・暮らし方を支援する。」、「将来を担う人材の可能性を引き出す。」、「時代に合う働き方を自ら実践し広める。」、「人権を尊重し、環境を守る。」の5つを掲げ、活動しています。

■ サステナブルな世界への一助となる 社会課題の解決へ向けて

リクルートグループの歴史は、社会課題の解決にチャレンジし続けてきた歴史と言い換えることができます。私たちは創業以来、常に「Why are you here? (あなたは、どうしたい?)」と自らに、また従業員同士で互いに問うことを続けながら、事業価値の創造に心を尽くしてきました。社会の「不」は何か、どうしたら世界がより良いものとなるか、そのために私たちにできることは何か。

私たちはこの精神を以て、より一層、ESG観点の重要性をも認識しながら、国際社会が協調して定めた国連の持続可能な開発目標 (SDGs) などの世界各国の社会課題に真摯に取り組んでいきます。また長期的な価値創造を視野に入れ、多様なステークホルダー・セクターの皆さまとの協働にも努めたいと思います。そして社会からの期待・要請に耳を傾けることを忘れず、サステナブルな世界の実現に向け私たちができること、挑戦すべきことを実行していきます。

■ リクルートグループのCSR方針

私たちは持続可能な豊かな世界を目指し、全ての企業活動を通じて社会に貢献するために、長期視点で社会課題に向き合い、行動していくことを約束します。

CSR 3つの行動指針

社会の期待に応える

社会からの期待に�えるとともに、自ら社会課題を洞察しそれに挑む。



リーディングカンパニーとしての責任を自覚し
グローバルレベルでの要請に応える。

CSR 5つの重点テーマ

私たちはグループ経営理念として掲げている「一人ひとりが輝く豊かな世界の実現」を目指し、次の5つをCSRの重点テーマとして掲げました。私たちができること、やるべきこと、挑戦すべきことを、ステークホルダーと連携し、実行していきます。

① 働く機会を創り、輝く人を増やす。

② 多様な生き方・暮らし方を支援する。

③ 将来を担う人材の可能性を引き出す。

④ 時代に合う働き方を自ら実践し広める。

⑤ 人権を尊重し、環境を守る。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

■持続可能な開発目標(SDGs)などの共通課題を視野に入れ、サステナブルな事業活動を推進

SDGsにおける開発目標を、CSR方針として掲げている「5つの重点テーマ」と合わせて認識し具体的な活動に取り組むとともに、社会からの期待に耳を傾け、自らの取り組みの方向性を決定していきます。具体的にはステークホルダーダイアログの実施、社外委員を招いたサステナビリティ委員会の場を活用しています。



会社概要

社名:

株式会社リクルートホールディングス

創業:

1960年3月31日(設立 1963年8月26日)

2012年10月1日「株式会社リクルート」より商号変更

本社所在地:

〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2

URL:

<http://www.recruit.jp>

従業員数:

512名(2017年3月31日時点)

グループ従業員数:

45,688名(2017年3月31日時点)

グループ企業数:

357社(連結対象子会社、2017年3月31日時点)

資本金:

100億円(2014年10月15日より)

株式基本情報

証券コード:

6098

上場証券取引所:

東京証券取引所 市場第一部

決算期:

3月31日

基準日:

剰余金の配当 中間配当 9月30日／期末配当 3月31日

*2018年3月期より中間配当を実施することとし、中間期末及び期末日を基準に年2回の剰余金の配当を行う方針としています。

単元株式数:

100株

定時株主総会:

毎年6月中

株主名簿管理人:

三菱UFJ信託銀行株式会社

公告方法:

電子公告により行います。

(ただし、事故そのほかやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)